

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 26日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都千代田区大手町一丁目1番2号

氏名 JXTGエネルギー株式会社
代表取締役社長 大田 勝幸

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	JXTGエネルギー株式会社 代表取締役社長 大田 勝幸				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都千代田区大手町一丁目1番2号				
主たる事業の業種	大分類	E 製造業			
	中分類	17 石油製品・石炭製品製造業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,411,127	kl	自動車の台数	台

2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針] 中期環境経営計画（2016-2018）を新たに策定し、その重点テーマの1つに地球温暖化防止対策の推進を掲げ、全社的な省エネルギーならびに温室効果ガス削減目標として、全ての拠点においてエネルギー消費原単位を3年間で3%削減することを掲げている。また、この目標を達成するために、ENEOS地球温暖化対策要領を制定し、4項に記載の体制を規定し、温室効果ガス削減目標の確実な達成を目指している。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 根岸製油所主要装置の熱交換器の高効率化や大型加熱炉コンベクション部の清掃強化による省エネ（平成30年度まで随時）、スチームトラップ管理強化によるスチームロス削減（平成30年度まで随時）等を実施する。</p> <p>②上記①の設備を選択した理由</p> <p>③設備更新スケジュール 上述の通り</p>

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	2,817,407	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	2,816,558	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	2,732,885	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率	3.0 %		
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>中期環境経営計画（2016-2018）を新たに策定し、その重点テーマの1つに地球温暖化防止対策の推進を掲げ、全社的な省エネルギーならびに温室効果ガス削減目標として、全ての拠点においてエネルギー消費原単位を3年間で3%削減することを掲げている。</p> <p>具体的な省エネ対策としては、根岸製油所主要装置の運転効率化、熱交換器の高効率化や大型加熱炉コンベクション部の清掃強化による省エネ（平成30年度まで随時）、スチームトラップ管理強化によるスチームロス削減（平成30年度まで随時）等を実施する。</p>								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (2016年度)	排出量	2,578,947	t-CO ₂	削減率	8.5 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	2,577,727	t-CO ₂	削減率	8.5 %		削減率	▲ 9.1 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>市域内の主要拠点（温室効果ガス排出量が全体の約97%）である根岸製油所において、主要装置の運転効率化、熱交換器の高効率化や大型加熱炉コンベクション部の清掃強化による省エネ、スチームトラップの管理強化によるスチームロス削減等の省エネ対策を着実に実施したこと等により温室効果ガス排出量は大幅に減少したが、一方で稼働低下により原単位は悪化した。</p> <p>根岸製油所以外の拠点については、そのほとんどが温室効果ガス排出量・原単位ともに低下している。</p>								
第二年度 (2017年度)	排出量	2,732,829	t-CO ₂	削減率	3.0 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	2,730,081	t-CO ₂	削減率	3.1 %		削減率	1.5 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>市域内の主要拠点（温室効果ガス排出量が全体の約97%）である根岸製油所において、主要装置の運転効率化、熱交換器の高効率化による省エネ、スチームトラップの管理強化によるスチームロス削減等の省エネ対策を着実に実施したこと等により温室効果ガス排出量は基準年比減少したことにより原単位が低下。</p> <p>根岸製油所以外の拠点についても、そのほとんどが温室効果ガス排出量・原単位ともに低下している。</p>								
第三年度 (2018年度)	排出量	2,511,836	t-CO ₂	削減率	10.8 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	2,508,450	t-CO ₂	削減率	10.9 %		削減率	▲ 1.5 %	
目標等の達成状況及び説明	<p>市域内の主要拠点（温室効果ガス排出量が全体の約97%）である根岸製油所において、主要装置の運転効率化、熱交換器の高効率化による省エネ、スチームトラップの管理強化によるスチームロス削減等の省エネ対策を着実に実施したものの、定期修理や計画外装置停止等により温室効果ガス排出量は基準年比減少したものの、原単位は悪化した。</p> <p>根岸製油所以外の拠点については、温室効果ガス排出量・原単位ともに低下している。</p>								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>根岸製油所主要装置の熱交換器の高効率化や大型加熱炉コンベクション部の清掃強化による省エネ（平成30年度まで随時）、スチームトラップ管理強化によるスチームロス削減（平成30年度まで随時）等を実践したことにより、排出量は10.8%削減となり目標を達成した。</p>								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k1以上	3	2,817,004	3	2,578,573	3	2,732,464	3	2,511,407
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	0	0		
500k1以上 1,500k1未満	0	0	0	0	0	0		
500k1未満	4	403	3	374	3	365	3	429
合計	7	2,817,407	6	2,578,947	6	2,732,829	6	2,511,836

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度							
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度			実施済	6/6	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	2/6	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/6	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/6	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	2/6	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/6	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/6	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	0/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	0/3	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施中	実施中	2/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/3	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	2/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/3	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施中	実施中	2/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/3	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	2/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/3	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	2/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/3	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/3	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	2/6	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/6	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/6	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	地下駐車場なし		非該当	/	—	年度	地下駐車場なし		非該当	/	—	年度	地下駐車場なし	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	2/6	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/6	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/6	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施中	実施中	2/6	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/6	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	2/6	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	15	機器性能管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラー 7/9	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラー 7/9	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラー 7/9	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当する冷凍機なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当する冷凍機なし		非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当する冷凍機なし	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 加熱炉 61/67	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) 加熱炉 61/67	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) 加熱炉 61/67	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 加熱炉 61/67	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) 加熱炉 61/67	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) 加熱炉 61/67	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施中	実施中	(設備の種類) ハット等 7/9	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) ハット等 7/9	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) ハット等 7/9	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 加熱炉 61/67	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) 加熱炉 61/67	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) 加熱炉 61/67	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施中	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 6/8	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 6/8	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 6/8	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 6/8	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 6/8	—	2018年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中	実施中	(設備の種類) コンプレッサー 6/8	—	2021年度		実施状況を示す資料等の準備、検討中

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	3,386	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減 ・環境にやさしい商品・サービスの提供と開発 ・エコドライブ・ノーマイカーデーの推進
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減 ・環境にやさしい商品・サービスの提供と開発 ・エコドライブ・ノーマイカーデーの推進の継続
第一年度実績	各項目に対し実施を確認
第二年度実績	各項目に対し実施を確認
第三年度実績	各項目に対し実施を確認

14 実施状況等に対する自己評価

・廃棄物の削減については最終処分率0.5%未満を目標として活動をしてきたが、主要拠点である根岸製油所では0.02%を達成。環境にやさしい商品・サービスの提供と開発については環境配慮型商品管理要領に基づき商品の見直し等を実施するとともにCO2削減効果の目標を設定する等、引き続き積極的に推進してきた。
 ・カジュアル365運動により、年間を通してクールビズ・ウォームビズにより省エネ効果を図った。
 ・風力発電ハマウィングのスキームへの協賛を行っている。